

i. 生徒のワークシート

ゲーム感覚で岩石の名称を当てさせ、正しい岩石名が分かったところで、ワークシートにスケッチをさせた。岩石の細かい様子まで観察して書いているスケッチを取り上げ、クラス全員へ紹介すると、次第にスケッチが上手になってくる（図 28, 29）。

また、小さいながら宝石のように美しい緑色に光るかんらん石を観察させ、数個は持ち帰らせた。また、火成岩ではないが、手ごろな大きさ（直径が数cm）の石英を2個こすり合わせると光る実験を体験させた。目的は、岩石の不思議さに触れさせ、地学に対する興味・関心を高めたいと考えた。石英が光る理由については、深入りはせず、「諸説あるようだが、結晶の原子構造が力を加えることによって歪んで、それが戻るときに電磁波を出す（光る）ようだ」と説明した。